



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和7年4月10日
企業・団体名 社会福祉法人梨雲福祉会
代表者名 理事長 林 一枝

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 社会福祉法人梨雲福祉会は、地域の核となり架け橋となれるよう、地域の皆様が安心して暮らしの継続ができる環境をつくれます。 【実施状況】 ・「地域かがやきアドバイザー」が地域団体と積極的に対話を重ね、コロナ禍で縮小していた公民館活動や長寿会活動等を中心とした地域活動が少しずつ再開し、以前の地域コミュニティの活気が戻りつつある。 ・富山県で唯一認可されている「ユニットリーダー研修実地研修施設」として、県内外よりおよそ35名の実習生を受け入れ、個人の生活を尊重し「その人らしい暮らしの継続」を実現するユニットケアの普及に貢献した。 ・地域を支える社会福祉施設として地域住民と防災について考える「地域防災セミナー」を開催し、50名超の参加者とともに地域防災の知識を深め、発災時の避難行動について具体的に考えるグループワークを実施した。
2	【目標】 社会福祉法人梨雲福祉会は職員やその家族を同様に愛し、職員が長く働くことができる環境を作ります。 【実施状況】 ・地域の元気高齢者を介護助手として採用し、シーツ交換・食器洗い・見守り等の介護周辺業務を担当してもらい、介護職員が利用者・入居者と直接かかわる時間を確保することで質の高い介護支援につなげた。 ・事業所内託児所「ゆうゆうガーデン」の活用等支援活動を通して、産休・育休明け職場復帰率が100%を実現。通常利用以外にも、休日や変則勤務に応じた柔軟な対応をとることで男女の子育て支援をサポートしている。 ・4月より新たに「テクノロジー活用推進委員会」を立上げ、職員が主体になり介護ロボット・ICTの導入を実現。業務の効率化を図り、介護職員が利用者・入居者と直接かかわる時間を確保することで介護の質向上につなげた。
3	【目標】 社会福祉法人梨雲福祉会は脱炭素、地域資源の有効活用に積極的に取り組みます。 【実施状況】 ・フードロスの削減と食糧支援団体への食料品提供を目的として、法人内職員参加型のフードドライブに取り組む。前年を上回る432点を集めて、富山市社会福祉協議会「愛と誠銀行」に贈呈した。 ・職員や利用者をはじめ地域の方からも協力いただき計41,065個(95.5Kg)のペットボトルキャップを回収。廃棄物処理業者に提供しリサイクルすることで過去最高の約300KgのCO2削減を実現した。 ・月2回、営業時間前に職員による地域の清掃活動を実施。法人施設周辺のゴミ拾い、道路沿いの花壇に季節の草花を植えて、誰でもが住みやすい地域になるようきれいな景観作りに取り組んでいる。 ・令和5年から自治振興会の活動支援につながる古紙・段ボールの回収に参加し、法人内施設のほか、職員の自宅からも不要になった古紙・段ボールを集め、令和6年度は5,870Kgを提供した。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。